

淡路瓦を刷新するフルフラットタイプの平板瓦

# Aiストレート

— アイストレート —

**A**waji Kawara (淡路瓦)

**I**nnovation (刷新)

## 防災機能

台風などの強風や地震の揺れによるズレや飛散を防ぐため、瓦のツメ同士を強固に組み合わせることにより、性能を実現しました。



## 長住協対応部材

長期使用住宅部材標準化推進協議会の定める長期使用対応部材(cjk部材)の基準書【粘土瓦(F型棧がわら)】の基準適合製品です。



## Ai STRAIGHT Colors



▲ブラック BLACK

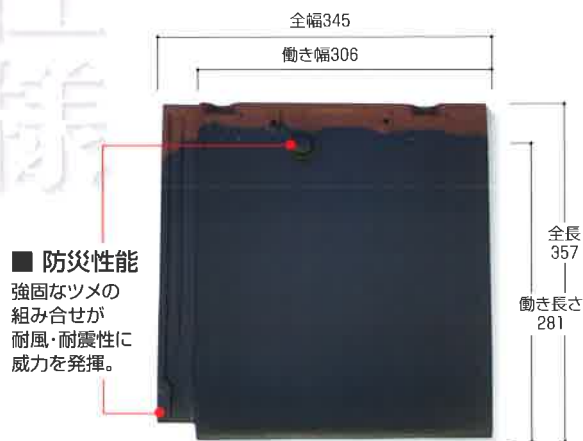


▲ブラウン BROWN



▲新銀 SILVER

# 仕様



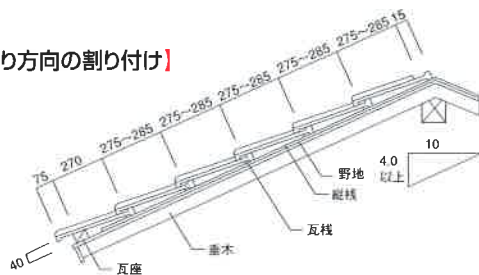
全長	357mm(±4mm)
全巾	345mm(±4mm)
働き長さ	281mm(±4mm)
働き幅	306mm(±4mm)
1枚の重量	3.9kg
葺き上がり必要枚数	約40枚/坪・12枚/m <sup>2</sup>
3.3m <sup>2</sup> 当たりの重量	約152kg
1m <sup>2</sup> 当たりの重量	約46kg
使用可能勾配	4/10勾配以上

## 標準屋根勾配とその流れ長さ

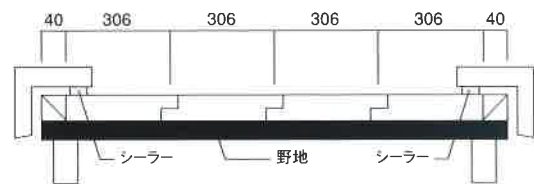
標準屋根勾配	4.0/10	4.5/10	5.0/10	5.5/10	6.0/10
その流れ長さ	8m	10m	12m	15m	17m

注意：これはアイストレートを安心してお使い頂くための標準値です。  
 ※働き長さは275～285mmまで施工可能です。

## 【登り方向の割り付け】



## 【横方向の割り付け】



## 安全に関するご注意

- ※粘土瓦の落下・雨漏りの防止等の工事には専門の設計・施工が必要です。粘土瓦の設計及び工事は専門業者にご相談ください。
- ※粘土瓦の強風地域・積雪地域での使用は、特殊な工事が必要な場合があります。このような地域では必ず専門施工業者にご相談ください。
- ※粘土瓦を使った屋根を設計する場合、関連する工事標準仕様書に基づいておこなってください。特殊な設計や工事を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- ※施工後及び施工中に専門工事業者以外の方が、屋根面に登る事は落下等の可能性があり非常に危険です。また、雨漏り等の原因になる事もありますので、絶対に登らないで下さい。

## 製品に関するお願い(粘土瓦の特性について)

瓦は天然原料である自然の粘土を原料とした焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、また同一場所の採取でも全く均一ではありません。このように瓦は原料自体が均質化された工業原料ではなく、自然から生まれた生きた粘土を使うため、それ自体が機械化に向くようにはできていない為、科学的な管理が難しい焼成品です。日本の瓦は約1400年以上前から作られてきましたが、製造技術・焼成技術が飛躍的に進歩し、大量生産できるようになった現在でも「瓦は天然材料を使った自然素材である」ことをご理解いただき、その特性をあらかじめご承知置きください。

- 粘土成分の違いや気圧など気象条件による焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。
- 焼きもとの特有の若干のネジレや寸法のバラツキがある場合があります。また瓦は重ね合わせて施工していきますので、葺き上げ後に瓦と瓦の間にスキマが発生することがあります。
- 施工後、日焼けによる色あせやホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- 陶器瓦(軸葉瓦)は貫入(かんにゅう)と呼ばれる表面亀裂が発生する場合がありますが、これは焼き物製品特有の軸葉表面層に発生する亀裂であり、屋根材としての役割を損なうものではありません。
- 陶器瓦(軸葉瓦)には軸葉にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生する場合があります。軸葉の気泡や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するものですが、焼きものとして、また屋根材としての品質上の問題は一切ありません。
- 強風雨時等、瓦の隙間から、しびきが入る恐れがあります。
- 立地条件により、瓦表面にコケ等が発生することがあります。これは瓦の表面層に発生しているものであり、屋根材としての品質や性能を損なうものではありません。
- 切妻部の袖瓦から雨水の水滴が落ちることがあります。これは、野地部に雨水が進入する雨漏りではなく、一般的な現象です。
- 成型後の乾燥から高温焼成時に素地が収縮する事によって粘土が動き、切れが発生する場合がありますが、強度には問題はありません。
- 成型時の金型内で粘土が動き、瓦曲面周辺にシワが発生しますが、漏水や強度には問題ありません。
- 瓦の耐久性を高めるために高温焼成をおこなうと表面は硬く焼結されます。そのため、梱包や輸送時に多少のメカケが混入します。
- 製品は改良のため予告なく変更する場合があります。

## 近畿セラミック入株式会社

本社 〒656-2224 兵庫県淡路市大谷881-8  
 TEL.0799(64)0631(代) FAX.0799(64)0595

西淡事務所 〒656-0341 兵庫県南あわじ市津井1730  
 TEL.0799(38)0311(代) FAX.0799(38)0664

福山営業所 〒729-0114 広島県福山市柳津町4丁目1-24 TEL.084(934)7288(代) FAX.084(934)6441  
 広島営業所 〒731-0143 広島県広島市安佐南区長楽寺1丁目2番2号 TEL.082(878)3715(代) FAX.082(878)3725  
 大分営業所 〒870-0003 大分県大分市豊海3丁目8-9 TEL.097(532)8163(代) FAX.097(538)4843  
 宮崎営業所 〒880-0125 宮崎県宮崎市大字広原4607番6 TEL.0985(30)5622(代) FAX.0985(30)5633

## ■ 特約店